

2012年2月15日

業界初 植物由来プラスチックを用いた共押出多層フィルムを発売
～ プリマハム社の新商品2製品の包装材に採用 ～

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区 社長:吉田 宏)は、ハムやソーセージなどの食品包装を中心に広範な分野で使われている共押出多層フィルム「ダイアミロン®」において、植物由来プラスチックであるポリ乳酸(PLA)^{※1}を原料の一部に使用した環境配慮型の「ダイアミロンMF Pタイプ」を開発し、2月中旬より販売を開始しました。共押出多層フィルムの深絞り包装^{※2}用途において、植物由来プラスチックを原料に使用した製品は、業界初となります。なお、本製品は、ハム・ソーセージ大手メーカーのプリマハム株式会社が発売する「キッチンライフシリーズ」の包装材として採用されています。

昨今の環境意識の高まりを受け、食品メーカー各社は、包装材の使用量削減など、より環境に配慮したパッケージの採用に積極的に取り組んでいます。そのような状況のなか、当社は、業界トップブランドである共押出多層フィルム「ダイアミロン®」において、植物由来プラスチックのポリ乳酸(PLA)を原料(25%以上)に使用した「ダイアミロンMF Pタイプ」の開発し、販売を開始しました。開発においては、強度にやや劣るポリ乳酸(PLA)層の物性を補うために、フィルム構成の設計と特殊な原料配合により、従来品とほぼ同等レベルの耐久性を確保しました。植物由来のプラスチックを原料の一部に使用することで石化原料(枯渇性資源)の使用量削減と温暖化ガスの排出抑制につながるため、より環境に配慮された包装フィルムといえます。なお、本製品は、日本バイオプラスチック協会(JBPA)が認証する「バイオマスプラマーク」を取得しています。

また、本製品は、プリマハム株式会社が3月1日に全国販売を開始する「キッチンライフ ロースハム」及び「キッチンライフ ベーコン」の2品目のパッケージとして採用されることが決まっています。

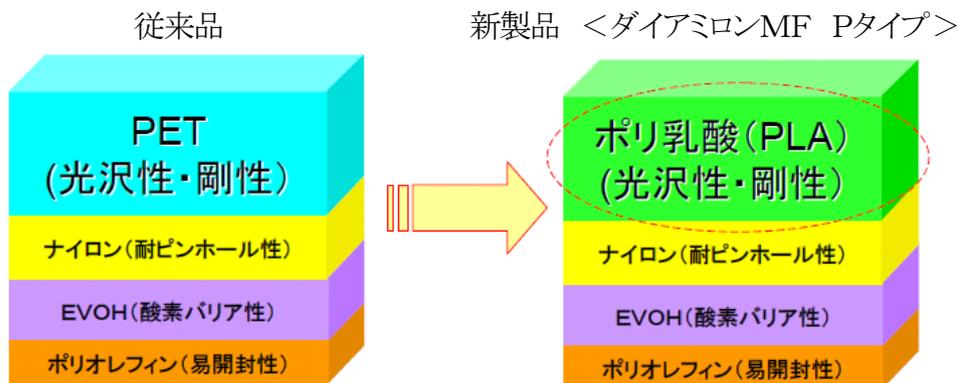
当社は、三菱ケミカルホールディングスグループが提唱する「KAITEKI^{※3}」の実現を目指して、これからもお客様のニーズに基づく環境配慮型包装資材の積極的な開発・商品化に取り組んでまいります。

※1 ポリ乳酸は、トウモロコシなどの植物のでんぷんから得られるL-乳酸から合成されるバイオマスポリマー。植物が原料であるため、化石資源の使用量の縮減につながることや、二酸化炭素の排出抑制に貢献できる。

※2 熱成形で凹みを持たせたボトムフィルムとフラットのまま使用されるトップフィルムの組み合わせで構成される包装形態。「ダイアミロンMF Pタイプ」は、ボトムフィルムに使用されています。

※3 人にとつての心地よさに加え、社会にとつての快適、地球にとつての快適を併せ持ったもので、真の持続可能な状態。

【従来品と新製品の構成比較】



【バイオプラスチックマーク】



日本バイオプラスチック協会(JBPA)が制定。一般消費者が、バイオマスプラスチック製品を容易に識別できるよう、同協会が定める基準に適合する製品を「バイオマスプラ」として認証し、シンボルマークの使用を許可する制度。
バイオマスプラマークの表示には、プラスチック構成成分に有機資源(植物等)由来物質を25.0wt%以上含まなければならない。

【写真:プリマハム株式会社の新商品】



「キッチンライフ ロースハム」



「キッチンライフ ベーコン」

<本件に関する報道関係のお問合せ先>

三菱樹脂株式会社 総務部 広報室

TEL:03-3279-3800